

ありとはと

向ふの木の枝に、鳩が一羽止って居るのをみつけて、鳥さしが、長い竹の端に、もちを付けて、下からそーっとささうとしました。

すると、地面の上を這つて居た蟻が一匹、鳥さしの足の甲に這上つて来て、思ひ入り喰いついたので、鳥さしは、びっくりして、『あいたっ』といったなり、持つて居た竹の竿をおとしてしまひましたので、鳩も始めて気がついて、『あゝ危なかつた』といって、高い枝へ飛び上りました。

夫から二三日たつて、この蟻が、水たまりの中に落ちて、あぶく〜といつてなんぎして居ますと、上の木の枝に居た、以前の鳩がみつけて、『オヤ〜かわいそうに』といつて、其木のはを一枚おとしてくれましたので、蟻はやつとこのはに、しがみついて助かりましたとさ。

むしのこゑ

ねーさんおきよ

むしのこゑ

ちんちろりちんちろり

ちんちろり

やさしいおこゑは

まつのむしよ

かわさんおきよ

むしのこゑ

りーんりんりーんりん

りんりんりーん

すいしいおこゑは

すいむしよ」

にーさんおきよ

むしのこゑ

かしゃかしゃかしゃかしゃ

かーしゃかしゃ

さわいでなくのは

くつわむし」

みんなのないてる

そのなかで

はたるはひとりで

かとなしく

だまつてあかりを

ともしてゐる

懸賞考へ物

私は、この「婦人と子ども」を、高等小學四年の頃から非常に愛讀して居ます。このたび、同村に、同姓同名がありまして、其れに生れも私と同じ年(明治二十二年二月生)諸事差し支へますから、とさこ子を登喜子と改名いたしました。夫で改名披露

の爲、小さい方の御慰までに次の様な懸賞考へ物を出しました。

題

- (1) 十六を三分して 我國の中一國名
 - (2) 二十を三分して 我國の中一國名
 - (3) 九を二分して 我國の中一國名
 - (4) 十三を二分して 我國の中一國名
 - (5) 二十三を三分して 我國の中一國名
- ◎ 答は兄さんや、姉さんに書いて頂いても宜し。
- ◎ お答の中に、郵券四錢を添へて送つて下さい。
- ◎ 甘くお答の出来た方で、五、十と云ふ節に當つた方には、景品を差し上げます、御添附の四錢は、景品送附料に致す考へであります。
- ◎ 番號は到着順にします。
- ◎ 特に第壹番の方へ「ふみのかきふり一部」小野鷲